

寒風ついて共同作業



寒さ対策も十分、石綿さんご一家の参加で、作業所の気持ちが一瞬で和んだ

1月15日、大森農道と中央南北道の除草清掃が行われました。大森農道は管理が行き届いていて、今回は殆ど作業が必要ありませんでした。

中央南北道は圃場の土が道の上に残って堆積したのもあって、作業は簡単ではありませんでした。除草作業は刈り払い機で行いますが、それを圃場に戻す作業が大事で、竹ぼうきや熊手を使う人手のいる作業が残ります。

農作業が活発な時期は、一斉の除草作業は難しいので、どうしても農閑期

の作業となります。寒い時期なので装備をしっかりとしないと作業が続けられません。

今回は石綿さんのご一家全員が参加してくださいました。それぞれ自分用の道具を持参しての参加です。この日は比較的寒くない日でしたが、それでも外にいるのは辛い時間、最後まで頑張ってくれました。



舗装を傷めないように慎重に

農業分野に注目する事業者

日経新聞の記事によると地球全体の温暖化ガスの10%を農業の分野が排出していることになっています。当然それらの削減は農業分野においても大きな課題です。

現在これをビジネスチャンスと捉えて様々な事業を起こしているという活発な動きがあるようです。

いけません。そこに特殊な加工をして栄養素を含ませたものを作り、肥料の散布を省くことができるようにしたものを開発しています。また人工知能の力を借りて、土壌に必要な栄養素を割り出し最適な肥料を使うことで使用料を大幅に減らすことができるというものもあるようです。

従来からもみ殻等を水はけや通気性の向上などに使ってきましたが、それらには栄養素は含まれていません。また、こうした努力や投資が報われるような仕組みも作られているようです。

10年に一度の寒波

一夜にして白黒の世界に



1月25日の山口市の最低気温は氷点下4.1℃でしたが、それ以上に冷たい景色

1月24日から猛烈な寒波がやってきました。10年に一度の寒さと何度もアウンスがありましたので、皆さんしっかりと準備されたに違いありません。

10年近く前に阿東町で氷点下16℃を記録したことがありました。その時こども氷点下7℃でした。その日は共同作業を予定していたのですが、あまりの寒さに中止したことを覚えておられますか。



まだ薄暗い時間に通学する小学生。膝小僧が寒そう

この寒さで、小中学校では登校時刻を、児童生徒の安全を第一に登校時刻を柔軟に対応するように連絡がありました。

寒いときの通学は辛いです。「子どもは風の子」、最近では聞きませぬね。

最長の西側外周路を除草清掃



刈り払い機が先行して、その後を簞と熊手がフォロー

1月9日、西側外周路の除草清掃を行いました。この日は祝日ですが多くの人が参加してくださいました。

厳しい寒さの朝でした。圃場は霜に覆われていて、少しの間もじっとしてられないほどでした。

外周路はおよそ1400メートルあります。手分けをしてもそれぞれの仕事量は少なくありません。しかも雑草の状態は部分でかなり違います。作業の分担が難しいところがありました。しかし、こうした作業に慣



見つけるとほうっておけない

れてきているので、自分の作業が終わると、作業中のところにどんどん移動していきます。

今回の作業でもまだ昨年の台風14号で冠水した際に流れ出た稲わらの処理が残っていました。水路の中に張り付くようになっていた稲わらを、スコップで掘り出して圃場に戻し、水路の流れを確保しました。

これだけをお支払いしました

八方原の環境を守る会の共同作業やの日当や報酬を合算したものを山口市役所に届けました。令和4年分としては658,500円となりました。

皆様のお手元には控えと税務署提出用のものをお配りしています。確定申告にお使いください。

また生年月日、マイナンバー等についてもお知らせください。

土木工事の進み具合は

予定されていた河川浚渫工事が一部停滞しています。理由は分かりませんが、まだ取り掛かるように見えません。

関係者のお話では、榎野川の浚渫については、予算が付き次第に随時実行するとのこととです。

九田川の排水改修工事も着手されていますが、これはもう間もなく始まると思われるます。

お知らせ

高山像庭園の社長高山満里子さんが1月21日亡くなりました。自治会運営にいつもご配慮いただいた方でした。謹んでお悔やみ申し上げます。